

2004年1月26日

発行
日本ハンドボールリーグ委員会
委員長・川上 憲太
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494

ソニーがシャトレーゼから大きな1勝

～第28回 日本ハンドボールリーグ第11週～

第28回日本ハンドボールリーグ第11週は山梨などで女子のみ2試合が行われ、2位のシャトレーゼが4位のソニーセミコンダクタ九州に18-27と完敗を喫し、3位のオムロンは北国銀行の挑戦を20-19と辛くも1点差でかわした。これで女子は第2ステージが終了、ブレークをめぐる上位3位内の争いは単独トップに立つ広島メイプルレッズが頭ひとつリードし、残り2枚の切符をめぐりソニーセミコンダクタ九州を含めた3チームが最後の最後までしのぎを削る展開になりそうだ。男子のレギュラーシーズンは各チーム1試合を残すだけとなり、すでに湧永製薬、大同特殊鋼、ホンダがブレークを進出を決めている。

山梨でのシャトレーゼ-ソニーセミコンダクタ九州戦は、開始1分にシャトレーゼ・藤浦が速攻シュートで率先よいスタートを切った。しかし、前半の主導権を握ったのはアウェイのソニーセミコンダクタ九州。田中のカットインからのシュート、巧みなパスワークを駆使したアシストがさえ渡り、23分には11-6と優位に立った。このあと左腕エース・郭惠靜が持ち前のパワーを生かしたシュートで着実に加点。一方、シャトレーゼも残り4分から原田退場の間に寺田の速攻などで粘りを見せたものの、14-11とソニー3点リードで前半が終わった。

後半もペースはソニーセミコンダクタ九州。田中が切れ味鋭いフェイントからのシュートなどで10分19-13と6点差までリードを広げた。シャトレーゼはタイムアウト後にソニー・田中、郭にダブルマンツーを仕掛けて流れを変えようとしたが、相手マークをものともしない2人の活躍で主導権をキープするソニーセミコンダクタ九州が、そのまま勢いを衰えさせずに27-18で快勝、初のブレークを進出に望みをつなぐ大きな白星をゲットした。ソニー・田中11点、郭8点の大活躍に対し、シャトレーゼは早船が9点をマークして気を吐いたが勝機を導くまでに至らなかった。

石川での北国銀行-オムロン戦は、地元の声援を受ける北国銀行が、立ち上がりオムロン・金城に連取されて苦しい滑り出しとなつたが、小野澤をトップに据えたディフェンスが機能はじめ、そこから15分間あまりオムロンを劉晋淑の1点に抑える一方、攻撃ではキャプテン中村や小野澤の活躍で7連取を含めた10得点をあげ、前半17分には10-4と6点リードを奪った。結局前半は北国銀行がそのままペースを握って14-8でUターン。

しかし、この試合に敗れると4位に転落してしまうオムロンが後半に入つて必死の反撃、北国・中村にマンツーをつけて失点を食い止めるとともに劉のカットインなどで得点を重ね、18分16-16と同点に追いついた。このあと北国銀行が上町を投入し、期待に応えてロング、カットインで再び先行すると、オムロンも富田の強打などで応戦。勝負は終盤にもつれ込み、最後はオムロン・安心院が決勝のサイドシュートを決め、北国銀行は善戦むなしく1点差で敗れた。

これで女子は各チームとも2巡目の対戦を終了、次週からスタートする第3ステージでは、勝点18でトップに立つ広島メイプルレッズの優位は動かないところで、2位のシャトレーゼを追うオムロンとソニーセミコンダクタ九州の競り合いが大きな焦点になってきた。第12週も女子2試合が組まれており、6連覇を目指すクイーンにチャレンジするソニーセミコンダクタ九州の戦いぶりが見もの。シャトレーゼは北国銀行相手に復調なるか。

なお、2部男子はこの第11週で全日程を終了、開幕から首位を独走する北陸電力が豊田合成、トヨタ自動車を危なげなく突き放して全勝(9勝)優勝を飾った。2位・トヨタ自動車、3位・大阪ガス、4位・豊田合成の順だった。



ソニーに貴重な白星をもたらせた田中

第12週の日程

[1 部]

1月31日(土)鹿児島・出水市総合体育館(JR鹿児島本線出水駅徒歩10分) 13:00~(女)ソニーノーマイプルレッズ
2月 1日(日)茨城・ひがちなか市総合体育館(JR常磐線勝田駅バス15分下車後徒歩10分) 12:00~(女)シャトレーゼ×北国銀行

1月24日(土) 女子1部 山梨・塩山市民体育館		1月25日(日) 女子1部 石川・小松総合体育館		1月24日(土) 男子2部 福井・北陸電力福井体育館フレア		1月24日(土) 男子2部 福井・北陸電力福井体育館フレア	
ソニーセミコンダ タ九州 27 (14 - 11) 5勝1分4敗	シヤト レー ゼ 7勝1分2敗	オムロン 20 (8 - 14) 6勝0分4敗	北国銀行 19 2勝0分8敗	大阪ガス 32 (15 - 16) 3勝0分5敗	豊田合成 30 1勝0分7敗	北陸電力 33 (14 - 9) 8勝0分0敗	トヨタ 自動車 4勝0分4敗
<2/3> K 首藤 3/3 5/17 郭恵静 3/8 長野 11/12 田中 1/4 山田早 1/1 水田 1/2 高橋 0/0 出雲 0/0 高木 <1/3> K 飛田 2/3 鶴野 0/1 佐久川 0/0 貞永 0/0 山田千	遠藤 K 原田 1/13 桂 0/2 山崎美 0/0 立野 0/0 稻吉 1/6 寺田 2/4 橋本 2/7 藤浦 3/5 K 飛田 細谷 K <0/1> 山崎理 0/0 早船 6/15 3/6 北野 K <0/2> 0/0 東漬	0/1 藤長 1/4 安心院 0/0 大石 0/0 西本 4/4 3/6 田中 3/5 佐久川 K 藤間 1/1 水野 1/1 卷 3/5 金城 <1/2> K 勝田 渡邊 0/0 1/2 洪延昊 3/9 劉晋淑 0/0 東漬	田中 K <0/3> 斎藤 1/1 近藤 3/8 上町 2/8 中村 5/7 1/2 北岡 1/5 小野澤 4/5 船本 0/0 1/1 渡部 3/5 金城 <1/2> K 勝田 渡邊 0/0 1/2 洪延昊 3/9 劉晋淑 0/0 東漬	0/0 奥野 1/1 曽根勝 7/12 三羽 0/0 川島 4/9 大庭 5/7 鳥平 3/5 浜田 7/9 八幡 4/6 向井 1/1 鶴島	鈴木 0/0 高間 3/3 面家 3/6 川島 1/2 門野 1/1 0/1 佐藤 14/24 1/1 半田 2/2 田中 5/9 1/1 鶴島	K 西田 4/5 高橋 3/4 神田 光田 1/1 厚沢 3/9 0/1 3/5 4/6 桜井 3/5 筆吉 甲斐田 2/2 2/2 高田 5/7 杉山 田中 4/7 0/0 表真 K 安藤 倉田 1/1 1/3 佐久間 <1/1> K 大原 吉永 0/2 K 有江 澤田 0/0	山本 K 三上 4/7 光田 1/1 厚沢 3/9 0/1 3/5 4/6 桜井 3/5 筆吉 甲斐田 2/2 2/2 高田 5/7 杉山 田中 4/7 0/0 表真 K 安藤 倉田 1/1 1/3 佐久間 <2/5> <1/1> K 大原 吉永 0/2 K 有江 澤田 0/0
3/3 24/48 11(FPP)6 審判(小林・土屋)	15/52 3/6 観客 454人	4/4 16/34 5(FPP)7 審判(浜野・阿部羅)	18/42 1/2 観客 600人	0/0 32/50 3(FPP)3 審判(藤井・竹野)	29/47 1/2 観客 60人	3/5 30/40 15(FPP)22 審判(浜野・阿部羅)	19/34 0/1 観客 112人
1月25日(日) 男子2部 石川・小松総合体育館		1月25日(日) 男子2部 石川・小松総合体育館		熱気はらむ個人賞レース(女子)			
トヨタ 自動車 22 (13 - 7) 5勝0分4敗	大阪ガス 16 3勝0分6敗	北陸電力 37 (16 - 6) 9勝0分0敗	豊田合成 13 1勝0分8敗	女子の個人賞レースも熱を帯びてきた。得点王は郭恵静(ソニー)と早船(シャトレーゼ)の両左腕による一騎打ちの様相。ともにブレーオフ進出をめぐる熾烈な争いを演じているチームの主軸とあって、今後も厳しいマークは必至な中での競り合いが注目される。			
2/2 4/9 三山 0/0 光田 2/6 13 厚沢 0/1 甲斐田 1/3 大塚 0/0 金子 4/9 田中 0/0 真崎 3/4 倉田 2/5 吉永 0/0 澤田	本嶋崎 K <0/2> 奥野 0/0 曾根勝 0/0 三羽 5/12 川野 0/1 大庭 2/4 鳥平 2/3 浜田 0/4 八幡 4/9 向井 2/4 佐藤鶴島 1/5 福田 K	K 西田 3/5 高橋 9/10 神田 2/6 桜井 0/2 筆吉 2/3 高田 6/12 杉山 7/9 北村 <1/2> K 安藤 5/6 佐久間 K 有江	梅村 K 木 0/0 高間 3/11 面家 1/2 川島 1/4 門野 1/2 0/1 名倉 K <1/4> 佐藤 3/12 1/1 半田 0/1 山田 3/7	フィールド得点賞も郭恵静(ソニー)がトップ。同僚の田中(ソニー)が追いかける形だが、ブレーオフ進出を狙うチームとしては両者の得点が分散されるのが理想的といえよう。			
2/2 20/44 8(FPP)11 審判(高田・田村)	16/42 0/0 観客 150人	3/4 34/53 3(FPP)5 審判(藤井・竹野)	12/39 1/2 観客 203人	シート率賞は、7割を超えるアベレージをマークしている青戸(広島)の存在が光るが、フィールド得点は9位と、このあと10位以内をキープできるかどうかが微妙。資格では申し分ない田中(ソニー)にもチャンスは充分。			
7mスロー得点賞は、早船(シャトレーゼ)菅谷美奈(名古屋)富田(オムロン)らの争い。試合展開にも左右されるだけに、予断は許されまい。				7mスロー得点賞は、高森、浅井の広島コンビが3割を超える阻止率を誇り、充実ぶりを印象づけている。7mスロー得点同様、試合展開に左右されるだけに、庵下(名古屋)田中(北国)らにもチャンスは残されている。			

チャレンジリーグ(男子)日程

チャレンジリーグが下記の日程で行われる。2月12~22日までカタールで男子世界選手権アジア予選があり、今期の男子が2回戦制となつたことから、若手層のレベルアップを狙いとして同時期に学生チームとの交流戦を企画したもの(九州地区は次号に掲載予定)。

関東地区	大崎電気 H C 東京 順天堂大 筑波大 国士館大	2月1日 (日)	茨城県・ひたちなか市総合体育館	10:00~ 12:00~ 14:00~	H C 東京 vs 筑波大 JHL女子・シャトレーゼvs北国銀行
		2月11日 (水)	埼玉県・吉川市総合体育館	10:00~	大崎電気 vs 順天堂大
		2月22日 (日)	東京都・駒沢屋内球技場	16:40~	H C 東京 vs 国士館大
		2月20日 (金)	岐阜県・岐阜アリーナ	13:00~ 15:00~	トヨタ車体 vs 中部大 大同特殊鋼 vs 名城大
東海地区	中部大 名城大	2月21日 (土)	岐阜県・岐阜アリーナ	13:00~ 15:00~	トヨタ車体 vs 名城大 大同特殊鋼 vs 中部大
		2月14日 (土)	三重県・ホンダアクティブランド体育館	14:00~ 16:00~	ホンダ vs 大阪体育大 湧永製薬 vs 大阪経済大
関西地区	大阪体育大 大阪経済大	2月15日 (日)	三重県・ホンダアクティブランド体育館	13:00~ 15:00~	湧永製薬 vs 大阪体育大 ホンダ vs 大阪経済大
		2月28日 (土)	福井県・北陸電力福井体育館フレア	15:00~ A面 15:00~ B面 16:30~ A面 16:30~ B面	北陸電力 vs 金沢大 大阪ガス vs 中・四国地区 トヨタ自動車 vs 大同工大 豊田合成 vs 東北福祉大
男子2部	北陸電力 トヨタ自動車 大阪ガス 豊田合成 金沢大 大同工業大 東北福祉大 中・四国地区代表	2月29日 (日)	福井県・北陸電力福井体育館フレア	10:00~ A面 10:00~ B面 11:30~ A面 11:30~ B面	トヨタ自動車 vs 金沢大 大阪ガス vs 東北福祉大 北陸電力 vs 大同工大 豊田合成 vs 中・四国地区

前号(11)で関東地区日程に誤りがありました。お詫び申し上げます。今回の試合会場が正しいものになります。

男女1部個人賞レース 第11週終了

《男子》 《女子》

得点王

1 吴 相 民 (アラコ九州)	94 点	(13試合)	1 郭 惠 静 (ソニ一)	91 点	(10試合)
2 朴 性 立 (大同特殊鋼)	77 点	(12試合)	2 早 船 愛 子 (シャトレーゼ)	87 点	(10試合)
3 ヴ オ ル (ホンダ熊本)	69 点	(12試合)	3 田 中 美 音 子 (ソニ一)	70 点	(10試合)
4 金 性 憲 (大同特殊鋼)	64 点	(12試合)	4 呉 成 玉 (メイプルレッズ)	57 点	(7試合)
5 小 沢 勝 利 (湧永製薬)	63 点	(13試合)	5 菅 谷 美 奈 (H C 名古屋)	49 点	(10試合)
6 中 川 善 雄 (大崎電気)	62 点	(13試合)	6 中 村 尚 美 (北国銀行)	47 点	(10試合)
7 野 村 広 明 (トヨタ車体)	57 点	(13試合)	7 富 田 有 美 (オムロン)	44 点	(10試合)
8 ク ジ ノ フ (ホンダ熊本)	54 点	(10試合)	8 金 城 晶 子 (オムロン)	43 点	(10試合)
9 山 本 琢 央 (大同特殊鋼)	53 点	(13試合)	9 稲 吉 希 穂 (シャトレーゼ)	42 点	(10試合)
10 松 林 克 明 (大同特殊鋼)	49 点	(13試合)	10 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	41 点	(5試合)
11 朴 正 鎮 (アラコ九州)	47 点	(13試合)	11 上 町 史 織 (北国銀行)	40 点	(10試合)
11 竹 下 浩 雄 (トヨタ車体)	47 点	(13試合)	12 青 戸 あかね (メイプルレッズ)	35 点	(10試合)
11 北 出 圭 祐 (トヨタ車体)	47 点	(13試合)	13 橋 本 寛 子 (シャトレーゼ)	33 点	(10試合)
14 田 中 慎 一 (アラコ九州)	45 点	(13試合)	14 藤 浦 美 絵 (シャトレーゼ)	32 点	(10試合)
15 福 田 大 樹 (湧永製薬)	44 点	(13試合)	15 劉 晋 淑 (オムロン)	31 点	(10試合)
			15 佐 藤 由 紀 恵 (H C 名古屋)	31 点	(10試合)

フィールド得点賞

1 金 性 憲 (大同特殊鋼)	64 点	(12試合)	1 郭 惠 静 (ソニ一)	74 点	(10試合)
2 中 川 善 雄 (大崎電気)	62 点	(13試合)	2 田 中 美 音 子 (ソニ一)	67 点	(10試合)
2 朴 性 立 (大同特殊鋼)	62 点	(12試合)	3 早 船 愛 子 (シャトレーゼ)	58 点	(10試合)
4 吳 相 民 (アラコ九州)	57 点	(13試合)	4 呉 成 玉 (メイプルレッズ)	54 点	(7試合)
5 ヴ オ ル (ホンダ熊本)	56 点	(12試合)	5 金 城 晶 子 (オムロン)	43 点	(10試合)
6 山 本 琢 央 (大同特殊鋼)	51 点	(13試合)	6 稲 吉 希 穂 (シャトレーゼ)	42 点	(10試合)
6 ク ジ ノ フ (ホンダ熊本)	51 点	(10試合)	7 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	37 点	(5試合)
8 松 林 克 明 (大同特殊鋼)	49 点	(13試合)	8 中 村 尚 美 (北国銀行)	36 点	(10試合)
9 朴 正 鎮 (アラコ九州)	47 点	(13試合)	9 青 戸 あかね (メイプルレッズ)	35 点	(10試合)
9 北 出 圭 祐 (トヨタ車体)	47 点	(13試合)	10 橋 本 寛 子 (シャトレーゼ)	33 点	(10試合)

シート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 松 林 克 明 (大同特殊鋼)	49点 / 68射 0.721	1 青 戸 あかね (メイプルレッズ)	35点 / 44射 0.795
2 山 本 琢 央 (大同特殊鋼)	51点 / 81射 0.630	2 田 中 美 音 子 (ソニ一)	67点 / 101射 0.663
3 朴 正 鎮 (アラコ九州)	47点 / 78射 0.603	3 呉 成 玉 (メイプルレッズ)	54点 / 92射 0.587
4 ヴ オ ル (ホンダ熊本)	56点 / 97射 0.577	4 郭 恵 静 (ソニ一)	74点 / 136射 0.544
5 金 性 憲 (大同特殊鋼)	64点 / 118射 0.542	5 稲 吉 希 穂 (シャトレーゼ)	42点 / 82射 0.512

7mスロー得点賞

1 吴 相 民 (アラコ九州)	37 点	(13試合)	1 早 船 愛 子 (シャトレーゼ)	29 点	(10試合)
2 小 沢 勝 利 (湧永製薬)	27 点	(13試合)	2 菅 谷 美 奈 (H C 名古屋)	24 点	(10試合)
3 森 本 彰 宏 (大崎電気)	25 点	(11試合)	3 富 田 有 美 (オムロン)	22 点	(10試合)
4 朴 性 立 (大同特殊鋼)	15 点	(12試合)	4 郭 惠 静 (ソニ一)	17 点	(10試合)
4 野 村 広 明 (トヨタ車体)	15 点	(13試合)	5 木 村 妙 子 (メイプルレッズ)	16 点	(10試合)

7mスロー阻止賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のG Kが対象)

1 吉 井 丈 晴 (ホンダ)	10本 / 23射 0.435	1 高 森 妙 子 (メイプルレッズ)	7本 / 19射 0.368
2 濱 口 靖 (大崎電気)	7本 / 17射 0.412	2 浅 井 友 可 里 (メイプルレッズ)	7本 / 21射 0.333
3 吉 田 耕 平 (ホンダ熊本)	9本 / 27射 0.333	3 庵 下 雪 絵 (H C 名古屋)	9本 / 31射 0.290
4 宇 田 川 敏 郎 (H C 東京)	8本 / 27射 0.296	4 田 中 麻 美 (北国銀行)	10本 / 43射 0.233
5 谷 川 一 寿 (アラコ九州)	9本 / 33射 0.273	5 細 谷 若 菜 (シャトレーゼ)	3本 / 13射 0.231

第28回日本ハンドボールリーグ成績表 第11週終了 1月25日現在

順位	1部男子	湧永製薬	大同特殊鋼	ホンダ	大崎電気	ホンダ熊本	トヨタ車体	アラコ九州	HC東京	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	湧永製薬		28 18	20	28 28	29 25	26 28	34 23	35 29	13	10	1	2	21	351	269	82
2	大同特殊鋼	22 18		18 22	25	30 23	25 27	27 28	26 28	13	10	1	2	21	319	262	57
3	ホンダ	23	21 21		26 27	30 24	26 29	33 20	28 31	13	10	0	3	20	339	261	78
4	大崎電気	24 21	20	15 33		25 27	22 25	22 26	29 23	13	9	0	4	18	312	283	29
5	ホンダ熊本	24 26	22 21	18 20	21 20		27	27 22	29 25	13	5	0	8	10	302	318	-16
6	トヨタ車体	21 21	23 16	19 23	20 22	24		25 22	29 26	13	4	0	9	8	291	302	-11
7	アラコ九州	24 17	25 23	22 22	20 19	26 23	23 20		27	13	2	1	10	5	291	336	-45
8	HC東京	15 13	14 10	13 16	16 11	20 12	15 9	27		13	0	1	12	1	191	365	-174

順位	1部女子	メイブルレッズ	シャトレーゼ	オムロン	ソニー	北国銀行	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	広島メイブルレッズ		24 25	26 29	32 29	27 28	39 24	10	9	0	1	18	283	226	57
2	シャトレーゼ	23 26		34 20	28 18	29 23	24 32	10	7	1	2	15	257	213	44
3	オムロン	20 20	19 17		27 23	22 20	36 25	10	6	0	4	12	229	235	-6
4	ソニーセミコンダクタ九州	30 25	28 27	26 21		27 30	29 26	10	5	1	4	11	269	223	46
5	北国銀行	15 20	19 17	17 19	18 16		22 21	10	2	0	8	4	184	243	-59
6	HC名古屋	24 23	18 19	24 19	16 16	18 19		10	0	0	10	0	196	278	-82

順位	2部男子	北陸電力	トヨタ自動車	大阪ガス	豊田合成	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北陸電力		30 28 33	35 19 31	34 41 37	9	9	0	0	18	288	148	140
2	トヨタ自動車	18 18 19		17 27 22	28 27 34	9	5	0	4	10	210	208	2
3	大阪ガス	15 17 18	20 21 16		32 24 32	9	3	0	6	6	195	232	-37
4	豊田合成	16 14 13	26 14 20	24 27 30		9	1	0	8	2	184	289	-105

この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。